

FILE No.5
区民生活部

ファイルは全21ファイルあり、**評価表の見方はFILENo.1**にあります。
評価一覧は、**FILENo.1の整理番号順目次**をご覧ください。
ご覧になりたい事業名をクリックすると該当事務事業の表にジャンプします。

1 / 1

担当課名	整理番号	細番号	事務事業名
課税課	85		自動車臨時運行許可事務
	92		特別区民税、都民税賦課事務
	96		軽自動車税賦課徴収事務
	97		たばこ税徴収事務
	98		すぎなみ環境目的税
納税課	93		特別区民税 都民税徴収整理事務
	94		納税貯蓄組合連合会助成
文化・交流課 (男女共同参画推進担当分を含む)	40		文化の振興
	41		国際交流の推進
	42		国内交流の推進
	43		平和都市宣言関連事業の推進
	44		杉並区文化・交流協会
	381		男女平等推進センター施設維持管理
	382		企画運営委員会
	383		パートタイマー報酬、図書・資料購入
	384		ニュースの発行
	385		啓発・セミナー講座の開催
	386		人材養成・ネットワークづくり
	387		女性のための相談
	388		女性のための起業支援
	389		調査・研究(女性史の発行)
	392		男女共同参画推進のための啓発
	393		男女共同参画に関する調査研究
394		男女共同参画の推進	

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		自動車臨時運行許可事務				整理番号	85		枝番号					
所属部課名 区民生活部課税課		コード	050701		連絡先電話番号	1202		昨年度整理番号	95					
係名 税務管理係		上位施策名						NO						
予算事業名 自動車臨時運行許可事務		コード	11400		窓口業務等サービスの向上				71					
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		27 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業									
	事業終期 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 道路運送車両法									
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		自動車臨時運行許可を必要とする個人又は法人		(2) 道路運送車両法施行規則									
					(3) 杉並区自動車の臨時運行許可に関する規則									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		自動車等の新規登録や、車検証が有効でない自動車の継続検査をするための回送を行う場合に、車を特定できる車検証等と自賠責保険の加入を確認し、運行する必要最小日数(最高5日間)臨時運行を許可し、許可証の交付と許可番号標を貸与する。		活動指標名(式)									
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		陸運事務所まで行かなくても、身近な行政庁で臨時運行の許可を得られるようにする。		成果指標名(式)									
				(1) 現年臨時運行許可件数 ÷ 前年臨時運行許可申請件数										
				(2)										
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 許可及び許可番号標の貸与は、運行経路の最寄の陸運局長が行政庁が行うこととなっているため、区民にとっては陸運支局より区役所の方が近くて便利である。また、この事務は平成12年より法定受託事務となり、自治権の拡充という意味では寄与している。														
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画	目標値	目標値に対する13年度の達成率%			
							計画	実績		年度				
指標	活動指標(1)		件	3149		3014		3032		1978		1988		
	活動指標(2)		件											
	成果指標(1)		%	92.4		95.7		100.6		65.6		100.5		
	成果指標(2)		%											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	103		74		67		67		67	特記事項	
	(内)委託費		千円	0		0		0		0		0	平成12年度までの職員数は、税務管理係の職員数で出張所を含まず。平成13年度より事業の扱いが税務管理係のみとなる。	
	職員数(正規 非常勤)		人	0.20		0.20		0.40		0.40		0.40		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	1,815		1,815		3,630		3,630			3,630
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0			0
	総事業費 ++		千円	1,918		1,889		3,697		3,697		3,697		
	単位あたりコスト ÷		円	609		627		1,219		1,869		1,860		
	財源	受益者負担分		千円	2,564		2,261		2,274		1,484			1,491
		国都等からの支出金		千円										
		特定財源計 +		千円	2,564		2,261		2,274		1,484			1,491
差引:一般財源 -		千円	-646		-372		1,423		2,213		2,206			
受益者負担比率 ÷		%	133.7		119.7		61.5		40.1		40.3			
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		最寄の行政庁で簡単に許可申請を受けることができるため、ユーザー車検等個人で車検を受けられるようになったこともあり個人の申請件数が増えている反面、許可番号標の未返却や不正使用も増えている。平成13年度より許可及び許可番号標の貸与が区役所のみとなったため、許可件数が減少した。											
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)		区民事務所での取扱いを求める声がある。											
	今後の予測		今後も微減傾向が予測される。											

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		特別区民税、都民税賦課事務				整理番号	92		枝番号					
所属部課名		区民生活部課税課		コード	050703	連絡先電話番号	1215		昨年度整理番号	102				
係名					課税統括担当係					上位施策名		NO		
予算事業名					特別区民税、都民税賦課事務					コード		130000	財政の健全化と財政基盤の強化	76
事務事業の概要	事業開始年度			<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		25 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業		
	事業終期			<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 地方税法、同施行令						
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区特別区税条例、東京都税条例								
	賦課期日現在			1. 区内に住所を有する個人 2. 区内に住所を有しないが、事務所又は家屋敷を有する個人									(3) 杉並区事務手数料条例	
	活動内容			(事務事業の内容、やり方、手順)									活動指標名(式)	
	給与支払報告書、所得税確定申告書、住民税申告書等の課税資料に基づき、特別区民税・都民税の賦課決定を行う。未申告者に対しては、訪問調査等により申告勧奨を実施する。												(1) 賦課(非課税含む)人数	
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)			税の公平性の観点から、対象者を正確に把握し、課税額を正しく算定する。									(2) 未申告者に対する申告勧奨件数	
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか														
区財源の根幹である税収の確保と、区民が広く公平に負担を分かち合う公平意識の醸成														

区分	単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度		目標値		目標値に対する13年度の達成率%		
		実績	実績	計画	実績	計画	17年度	年度						
指標	活動指標(1)	人	319,523	319,616	321,085	323,133	323,886	330,000	97.9					
	活動指標(2)	件	37,052	37,446	37,700	37,734	37,000	40,000	94.3					
	成果指標(1)	千円	59,871,784	58,227,956	57,087,273	58,016,278	55,752,094	56,000,000	103.6					
	成果指標(2)	%	23	21	22	21	22	23	91.3					
総事業費・コスト把握	事業費	千円	112,762	103,580	109,557	101,150	111,427	特記事項						
	(内)委託費	千円	28,161	26,588	29,681	26,077	29,877	都からの支出金である都税徴収費委託金については、整理番号93の特別区民税、都民税徴収整理事務」と按分処理をしている。						
	職員数(正規 非常勤)	人	57.50	0.00	55.60	0.00	57.60					0.00	53.60	0.00
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	521,698	504,459	522,720	523,628					486,420		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0					0		
	総事業費 + +	千円	634,460	608,039	632,277	624,778	597,847							
	単位あたりコスト ÷	円	1,986	1,902	1,969	1,933	1,846							
	財源	受益者負担分	千円	13,277	14,445	15,289	16,142					14,732		
		国都等からの支出金	千円	730,270	690,949	676,870	721,161					647,557		
		特定財源計 +	千円	743,547	705,394	692,159	737,303					662,289		
差引:一般財源 -		千円	-109,088	-97,355	-59,882	-112,526	-64,442							
受益者負担比率 ÷	%	2.1	2.4	2.4	2.6	2.5								

事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	税体系の複雑化、課税資料の質・量の増加により、賦課事務自体が専門化、複雑化し、量的にも増加している。税収は時々の経済状況に左右されるとともに、国の税制改正(特別減税等)によっても大幅な調定額の変化が生じている。また、企業倒産、リスラの増加、雇用形態の変化により、特別徴収分調定額が減り、普通徴収分調定額が増となり、所得把握が困難なケースが増加している。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	課税の仕組み、根拠、計算方法が分かりにくい。未申告者に対する不公平感が伝えられている。
	今後の予測	雇用形態の変化、若年層のフリーターの増加等から、所得状況の把握はますます困難になると予想される。所得把握方法の工夫が必要である。国税については、平成15年度から電子申告システムの運用が予定されており、地方税についても電子申告システムの導入が求められている。

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		軽自動車税賦課徴収事務				整理番号	96		枝番号			
所属部課名 区民生活部課税課		コード	050701		連絡先電話番号	1202		昨年度整理番号	108			
係名 税務管理係		上位施策名						NO				
予算事業名 軽自動車税等賦課徴収整理事務		コード	13400		財政の健全化と財政基盤の強化				76			
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		29 年度		根拠法令等					
	事業終期		<input type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業					
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		杉並区内で軽自動車等を所有している人及び法人		(1) 地方税法 (2) 杉並区特別区税条例 (3)					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		杉並区内に定置場を有する原動機付自転車等の標識の交付、及び杉並区内に定置場を有する軽自動車等の所有者に対して、軽自動車税を賦課徴収する。				活動指標名(式)					
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		軽自動車税を公平かつ適正に賦課するとともに、税負担の公平性の観点から滞納者に対して、督促・催告を行い収納を図る。				成果指標名(式)					
		意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか				数少ない自主財源の確保に貢献している。						
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画	目標値	目標値に対する13年度の達成率%	
							計画	実績		年度		
指標	活動指標(1)		件	70824	68829	69328	64642	62769				
	活動指標(2)		件	43720	48077	35830	43585	41729				
	成果指標(1)		%	90.8	92.2	90	92.1	92				
	成果指標(2)		%	11.36	11.77	12.23	14.20	12.69				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	6,693	5,608	7,921	7,459	6,601	特記事項			
	(内)委託費		千円	560	594	650	607	650	出張所、区民事務所の職員数は除く			
	職員数(正規 非常勤)		人	4.92	4.60	4.30	4.30	4.30				
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	44,639	41,736	39,023	39,023	39,023			
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	51,332	47,344	46,944	46,482	45,624				
	単位あたりコスト ÷		円	725	688	677	719	727				
	財源	受益者負担分		千円	652	512	824	701	717			
		国都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	652	512	824	701	717			
差引:一般財源 -		千円	50,680	46,832	46,120	45,781	44,907					
受益者負担比率 ÷		%	1.3	1.1	1.8	1.5	1.6					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		原動機付自転車の所有者は、特に若者が多く、かつ税額が少ないため、納税意識が低いだけでなく、登録時の申告を業者が代行する事が多いため、廃車や変更にも申告する必要性の認識に欠けるところがあり、滞納件数が増える。									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		手軽に納付できる方法として、コンビニでの収納を要望される。また、収納の確認に時間がかかりすぎるとの苦情がある。自動車税との比較で月割課税していないことへの質問が多い。									
	今後の予測		ほとんどの車種が横ばいで推移しそだが、一部の車種(軽二輪・軽四輪)について、新規登録台数が微増傾向にある。									

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		たばこ税徴収事務				整理番号	97		枝番号							
所属部課名		区民生活部課税課		コード	050701		連絡先電話番号	1202		昨年度整理番号	109					
係名				税務管理係		上位施策名				NO						
予算事業名				軽自動車税等賦課徴収整理事務		コード	13400		財政の健全化と財政基盤の強化							
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		29 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業			
	事業終期				<input type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 地方税法							
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		製造たばこの製造者、特定販売業者及び卸売販売業者						(2) 杉並区特別区税条例			
									(3)							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				製造たばこを卸売販売業者等が、杉並区内に営業所を有する小売販売業者に売渡す時に、売渡した分のたばこ税を、卸売販売業者等が申告し、それを納入する。								活動指標名 (式)			
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				たばこ税を遅滞なく収納する。								成果指標名 (式)			
												(1) 収納率 (金額ベース)				
												(2) 収納率 (件数ベース)				
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか																
安定した区の財源確保として貢献している。																
区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%							
				計画	実績		年度									
指標	活動指標 (1)	件	95	123	123	133	142									
	活動指標 (2)	件	89	122	123	133	142									
	成果指標 (1)	%	100	100	100	100	100									
	成果指標 (2)	%	93.68	99.19	100.00	100.00	100.00									
総事業費・コスト把握	事業費		千円	15	34	142	15	142	特記事項							
	(内)委託費		千円	0	0	0	0	0								
	職員数 (正規 非常勤)		人	0.10	0.15	0.15	0.15	0.15								
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	907	1,361	1,361	1,361	1,361								
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0								
	総事業費 + +		千円	922	1,395	1,503	1,376	1,503								
	単位あたりコスト ÷		円	9,708	11,341	12,222	10,348	10,586								
	財源	受益者負担分		千円												
		国 都等からの支出金		千円												
		特定財源計 +		千円												
差引：一般財源 -		千円	922	1,395	1,503	1,376	1,503									
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0									
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		地方財源として昭和 29年地方たばこ消費税が創設され、平成元年消費税導入に伴い、地方たばこ税と改称され、特別区の存する地域では、特別区たばこ税として都が都たばこ税と共に扱っていた。しかし、平成 12年度特別区制度改革に伴い、各区で申告納税等の業務面も扱うことになった。													
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)		対象者が製造たばこの製造者、特定販売業者及び卸売販売業者なので、住民からは特はない。													
	今後の予測		嫌煙、禁煙傾向にあるので、今後も消費本数は減少していくものと推測される。													

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名	すぎなみ環境目的税	整理番号	98	枝番号
所属部課名 区民生活部課税課	コード 050701	連絡先電話番号 1297	昨年度整理番号	
係名 税務管理係	上位施策名	NO		
予算事業名 軽自動車税等賦課徴収	コード 13400	環境配慮行動の推進	18	
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 13 年度	根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業		
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度	(1) すぎなみ環境目的税条例		
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 レジ袋を商品の運搬のために無料又は有料で譲渡する区内の事業者及びそのレジ袋の譲渡を受けた消費者	(2)		
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 環境に悪影響を与えるレジ袋の使用を抑制するため、買物などの際に事業者から無料又は有料で譲渡されるレジ袋1枚につき5円の税金を課税し、消費者に支払いを求める。事業者が、消費者の支払った税金を預かり、区に納入する。この税制の制定に向けた準備を行う。	活動指標名 (式) (1) レジ袋への課税構想及びすぎなみ環境目的税を周知するための広報すぎなみへの掲載 (2) すぎなみ環境目的税を周知するための駅頭での広報及びリーフレット配付回数		
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 環境に悪影響を与える使い捨て文化の象徴とも言えるレジ袋の使用を抑制することによって、消費者が買物袋を携帯し、事業者からのレジ袋の譲渡を回避する。	成果指標名 (式) (1) レジ袋に対する課税構想を取りまとめる。 (2) すぎなみ環境目的税条例の制定		
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 消費者が買物袋等を携帯し、事業者からのレジ袋の譲渡を回避することを契機として、大量生産・大量消費・大量廃棄のライフスタイルを見直し、環境に優しい生活行動を採ることがによって、環境に負荷を与えない施策が推進する。				

区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%
				計画	実績		13	年度	
指標	活動指標 (1)	回			4	5		4	125.0
	活動指標 (2)	回			4	4		4	100.0
	成果指標 (1)	件			1	1		1	100.0
	成果指標 (2)	件			1.00	1.00		1.00	100.0
総事業費・コスト把握	事業費	千円			6,047	6,033	7,376	特記事項	
	(内)委託費	千円			0	0	1,054		
	職員数 (正規 非常勤)	人			1.00 0.00	1.00 0.00	3.00 0.00		
	人件費	千円	0	0	9,075	9,075	27,225		
	職員分(超勤分含む)	千円	0	0	0	0	0		
	非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +	千円	0	0	15,122	15,108	34,601		
	単位あたりコスト ÷	円			3,780,500	3,021,600			
	財源	千円			0	0	0		
	受益者負担分	千円			0	0	0		
国 都等からの支出金	千円			0	0	0			
特定財源計 +	千円	0	0	0	0	0			
差引 :一般財源 -	千円	0	0	15,122	15,108	34,601			
受益者負担比率 ÷	%			0.0	0.0	0.0			

事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	法定外目的税の創設に向けて平成12年9月区税等研究会報告。レジ袋への課税構想を提言。平成13年5月杉並区レジ袋税調査会議報告。平成13年7月レジ袋を実施した場合に発生する課題調査報告。平成13年11月すぎなみ環境目的税条例を区議会上程、継続審査となる。平成14年3月18日すぎなみ環境目的税条例可決、併せて付帯決議を付される。平成14年5月杉並区レジ袋削減推進協議会発足。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)	本税制の目的である環境に負荷を与えているレジ袋の使用抑制については、概ね賛意を得ている。しかし、税と云う仕組みについては、賛否両論がある。特に、事業者からは、区境での消費動向の問題や管理システムの変更に伴う経費負担などの点から、反対意見があり、消費者からは、区外で譲渡されたレジ袋には課税されないことや区民以外でも課税されることへの不公平などに対する意見も寄せられている。
	今後の予測	本年7月実施のマイバッグ等持参状況調査において、持参率の加重平均が24.1%であったため、杉並区レジ袋削減推進協議会の第4回理事会で、レジ袋の削減目標を平成15年7月末までに33% (以後、毎年度ポイント程度ずつの向上を目指し、5年間で60%)に変更した。この目標達成に向けて、レジ袋の削減運動を展開しているところである。この削減運動により、本税制の目的であるレジ袋の削減が税制の実施前に達成されることも見込まれる。

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		特別区民税・都民税徴収整理事務				整理番号	93		枝番号		
所属部課名 区民生活部納税課		コード	050901		連絡先電話番号	2204		昨年度整理番号	103		
係名 管理係		上位施策名							NO		
予算事業名 特別区民税・都民税徴収整理事務		コード	13300		財政の健全化と財政基盤の強化				76		
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		年度		根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成		年度		(1) 地方税法、同施行令、同施行規則						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 特別区民税・都民税を賦課された個人（普通徴収）及び特別徴収義務者（会社・法人）を対象とする。				(2) 国税徴収法、同施行令						
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				(3) 杉並区特別区民税条例、同施行規則						
	納付後の区民税の管理とともに未納者に対して督促状や催告書を発布し、納付を促す。応じない者に対しては訪問や電話交渉を行う。最終的には滞納処分（差押等）を行う。				活動指標名（式）						
	意図（対象をどのような状態にしたいのか） 税の公平性の観点から納税者に対し、納税に対する意識啓発を促すとともに納税への理解を得て、特別区民税・都民税の期限内完全納付を促す。				成果指標名（式）						
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 区税の確実な納付は財政の健全化と基盤を強化する役割を担っている。				(1) 現年度の調定額に対する収納金額の割合							
				(2) 滞納繰越分の調定額に対する収納金額の割合							
区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%		
				計画	実績		15年度	年度			
指標	活動指標(1)	件	914,084	914,688	925,567	920,504	926,357	944,170	97.5		
	活動指標(2)	件	28,233	30,858	30,550	33,704	34,839	35,000	96.3		
	成果指標(1)	%	97.50	97.60	97.67	97.89	97.90	98.00	99.9		
	成果指標(2)	%	16.14	17.44	18.00	21.03	21.25	21.00	100.1		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	32,314	28,938	30,229	29,025	31,053	特記事項		
	(内)委託費		千円						職員数 課税課9.0人 納税課(45-3.45人) 41.55人 合計50.55人 特定財源は都税徴収費委託金である。 なお、都税徴収費委託金は整理番号92の特別区民税・都民税賦課事務でも按分処理している。		
	職員数(正規 非常勤)		人	52.45	52.45	51.45	51.45	50.55			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	475,879	475,879	466,909	466,909	458,741			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	508,193	504,817	497,138	495,934	489,794			
	単位あたりコスト ÷		円	556	552	537	539	529			
	財源	受益者負担分		千円							
		国 都等からの支出金		千円	669,191	652,998	608,199	643,536			611,002
		特定財源計 +		千円	669,191	652,998	608,199	643,536			611,002
差引：一般財源 -		千円	-160,998	-148,181	-111,061	-147,602	-121,208				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		地方税法が施行され50年。法施行当初に比較すると住民の納税意識は高くなっていると考えられる。一方、社会環境の方は長引く不況による企業倒産やリストラが続いており、納税したくてもできない状況も生まれている。この間の滞納繰越分の中には不良債権化したものも目につかれ、整理せざるを得なくなっている。納税義務者数平成元年245,361人、12年255,467人、13年258,123人。								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)		徴収整理事務は、法律にもとづき手続きを執行するものであるが、住民からは現下の厳しい状況の社会経済状況もあって、税金の用途に厳しい目が注がれている。また、納付についても特別・普通徴収納税義務者の推移を見ると普通徴収が漸増、特別徴収が漸減の傾向がある。苦しい生活の中で分割納付による納付要望が多く見られる。								
	今後の予測		今のところ税体系に大きな変化は見られないが、政局の動きによっては大幅な変更も視野にいれなければならない。徴収整理についても今年では現行の方法で推移すると考えるが、情報技術の発展による収納方法の変更も予測される。ただし、関係金融機関との間での検討などで実現にはまだ相当の時間が必要である。なお、効率的な徴収体制を実現するためにサーバーシステムの導入などの検討も始めている。								

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		納税貯蓄組合連合会助成				整理番号	94		枝番号			
所属部課名 区民生活部納税課		コード	050901		連絡先電話番号	2204		昨年度整理番号	104			
係名 管理係					上位施策名			NO				
予算事業名 特別区民税・都民税徴収整理事務		コード	13300		財政の健全化と財政基盤の強化			76				
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成				年度		根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成				年度		(1) 杉並区納税貯蓄組合連合会補助金交付要綱					
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 杉並・荻窪両納税貯蓄組合連合会						(2) 納税貯蓄組合法 (3)					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 振替納税の奨励、普及拡大を行っている納税貯蓄組合連合会に対して助成を行っている。					活動指標名 (式)						
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 納税貯蓄組合の活動を通して区民及び会員に対し、税知識の普及と納税意識の高揚、振替納税の奨励を図る。					成果指標名 (式)						
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 期限内納付の推進や口座振替の普及に大きく貢献している。												
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画	目標値	目標値に対する13年度の達成率%	
							計画	実績		15年度		
指標	活動指標 (1)		団体	2	2	2	2	2	2	2	100.0	
	活動指標 (2)		人	14,855	14,845	14,840	14,840	14,840	14,840	14,900	99.6	
	成果指標 (1)		%	31.00	28.86	30.00	27.09	30.00	30.00	35.00	77.4	
	成果指標 (2)		人	33,184	32,344	34,000	30,325	32,000	32,000	35,000	86.6	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	2,324	1,983	1,870	1,835	1,860	特記事項			
	(内)委託費		千円	1,706	1,400	1,400	1,400	1,400				
	職員数 (正規 非常勤)		人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	907	907	908	908	908			
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	3,231	2,890	2,778	2,743	2,768				
	単位あたりコスト ÷		円	1,615,650	1,445,150	1,388,750	1,371,250	1,383,750				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0			
差引：一般財源 -		千円	3,231	2,890	2,778	2,743	2,768					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		口座振替による納付は税金をはじめ多くの公共料金だけでなく、一般的にも広く国民の間に利用されている。このことは区税の収入確保に大きく貢献しているが、金融機関の統廃合の影響もあり 組合員数の減少が見られる。平成 6年 15,031人、平成 12年 14,845人平成 13年 14,840人。									
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)		プライバシーの問題や利便性の関係で口座振替が普及しており 区民の税に関する関心も納税意識も高まっている。									
	今後の予測		利便性や安全 確実性から口座振替の普及は拡大するとおもわれるが、一方インターネット等を利用した納付方法についても対応が求められている。									

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		文化の振興			整理番号	40		枝番号	
所属部課名		区民生活部文化・交流課		コード	051201		連絡先電話番号	2283	
係名					上位施策名			NO	
予算事業名		文化・交流の推進		コード	12050		文化 芸術活動の推進		
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		元		根拠法令等		
	事業終期		● 無 ○ 有		平成		年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(1) 杉並区文化・交流推進委員会設置要綱		
	区民						(2) 杉並区施設文化費運用に関する要綱		
							(3) 杉並区・日本フィル相互協力に関する覚書		
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		日本フィルとの友好提携事業、文化・交流協会の運営助成、文化・芸術活動の後援・共催等を通して、文化事業の提供・支援を行なう。			活動指標名(式)				
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		地域の中で、区民が優れた文化・芸術に触れる機会が増えるとともに、区民の主体的・創造的な文化・芸術活動が活発になる。			成果指標名(式)				
					(1) 日本フィルとの友好提携事業の実施回数				
					(2) 後援・共催名義使用承認事業実施件数				
					(1) 日本フィルとの友好提携事業の参加者数				
					(2) 後援・共催により実施した事業の参加者数				
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか									
文化・芸術に親しめる環境が整い、創造的な文化を世界にも発信できるはつらつとしたまちづくりに貢献する。									

区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%	
				計画	実績		年度	年度		
指標	活動指標(1)	回	24	36	36	36	37			
	活動指標(2)	件	34	32	40	36	40			
	成果指標(1)	人	9,200	10,324	12,000	11,007	12,500			
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費	千円	950	900	4,126	4,019	3,872	特記事項		
	(内)委託費	千円								
	職員数(正規 非常勤)	人	1.08	0.85	0.95	1.25	1.20			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	9,801	7,714	8,621	11,344	10,890		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 ++	千円	10,751	8,614	12,747	15,363	14,762			
	単位あたりコスト ÷	円	447,958	239,271	354,090	426,743	398,973			
	財源	受益者負担分	千円							
		国・都等からの支出金	千円							
		特定財源計 +	千円	0	0	0	0	0		
差引:一般財源 -		千円	10,751	8,614	12,747	15,363	14,762			
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				

事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	平成6年に日本フィルと友好提携して以来、身近な地域で優れた音楽を提供することができるようになった。また、平成10年度に「杉並区における文化・芸術振興のあり方懇談会」の報告に基づき、文化専管組織として文化・交流課を設置した。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	日本フィルとの友好提携事業については、身近なところで優れた音楽に触れる機会ができてよいという意見が多数寄せられている。小・中学校への出張音楽教室は、生の演奏を聞いた子どもたちの感動の声がふれ、他の区内施設への出張コンサートも好評で要望が多い。
	今後の予測	日本フィルとの友好提携事業は、各種コンサート・公開リハーサル、出張音楽教室と定着した感があるが、友好提携を生かした新たな区への貢献を日本フィルも模索している。また、庁舎ロビーの改修、公会堂のPFI方式による改築などにより、新たな事業の展開が予測される。

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		国際交流の推進				整理番号	41		枝番号	
所属部課名 区民生活部文化 交流課		コード	051201		連絡先電話番号	2284		昨年度整理番号	49	
係名		上位施策名						NO		
予算事業名 文化・交流の推進		コード	05720		交流と平和の推進				68	
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		2年度		根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 杉並区・ウイロビー市友好協定					
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		杉並区在住・在学・在勤		(2) 杉並区 瑞草区友好協定					
					(3)					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		友好都市 (オーストラリア・ウイロビー市、大韓民国ソウル特別市瑞草区)等、代表団や親善訪問団等の派遣や受入を行う。他課・他団体が友好都市等と交流事業を行う際、連絡調整を行う。		活動指標名 (式)					
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		杉並区民等が、文化・スポーツをはじめ様々な分野で、友好都市等の住民と交流する機会が増える。		成果指標名 (式)					
				(1) 友好都市との交流事業参加者数						
				(2) 国際交流事業参加者数						
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか										
区民が世代や性別に係わらず、共に交流し、多様な文化にふれあい、相互理解を深めることで、平和に貢献するまちとなる。										
区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%	
				計画	実績		19年度	年度		
指標	活動指標 (1)	人	108	183	20	66	50	60	110.0	
	活動指標 (2)	回	5	10	1	3	2	4	75.0	
	成果指標 (1)	人	324	553	400	718	50	500	143.6	
	成果指標 (2)	人	2,972	3,673		10,221	8,000	10,000	102.2	
総事業費・コスト把握	事業費	千円	1,121	1,825	5,318	2,920	3,192	特記事項		
	(内)委託費	千円	0	0	300	342	0	他課 他団体の交流事業も指標に含む。		
	職員数 (正規 非常勤)	人	1.08	0.85	0.85	1.53	1.50			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	9,799	7,712	7,714	13,885	13,613		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +	千円	10,920	9,537	13,032	16,805	16,805			
	単位あたりコスト ÷	円	101,110	52,115	651,588	254,617	336,090			
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0	0	0		
		国 都等からの支出金	千円	0	0	0	0	0		
		特定財源計 +	千円	0	0	0	0	0		
差引：一般財源 -		千円	10,920	9,537	13,032	16,805	16,805			
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	国際化が進み、海外へ出かける人・日本を訪れる外国人とも増加。杉並区文化 交流協会の設立 (交流係で国際交流事業を展開)。在留外国人は区内で1万人を超え、国籍も90カ国以上と多様化。国際交流事業を行うNPO、ボランティア団体の増加。								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)	次世代に続く交流をしてほしい。友好都市についてPRが不足している。文化 交流協会が中心となって交流を進める、もしくは民間団体中心で区や文化 交流協会が支援する形で交流を進めるのがよい。								
	今後の予測	ボランティア団体、NPOの活動が活発になる。								

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		国内交流の推進				整理番号	42		枝番号						
所属部課名		区民生活部文化 交流課		コード	051201	連絡先電話番号	2284		昨年度整理番号	50					
係名						上位施策名			NO						
予算事業名		文化・交流の推進		コード	05720	交流と平和の推進			68						
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		1 年度		根拠法令等				<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業	<input type="checkbox"/> 行革対象事業			
	事業終期		● 無 ○ 有		平成 年度		(1) 杉並区 風連町友好協定								
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区 吾妻町友好協定										
	杉並区在住・在学・在勤		(3)												
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		友好自治体 (北海道・風連町・群馬県・吾妻町) 等の代表団や親善訪問団等の派遣・受入を行う。他課・他団体が友好自治体等と交流事業を行う際、連絡調整を行う。					活動指標名 (式)							
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		杉並区民等が、文化・スポーツをはじめ様々な分野で、友好自治体等の住民と交流する機会が増える。					成果指標名 (式)							
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		区民が世代や性別に係わらず、共に交流し、多様な文化にふれあい、相互理解を深めることで、平和に貢献するまちとなる。													
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画		目標値		目標値に対する13年度の達成率%		
							計画		実績		19 年度				
指標	活動指標 (1)		人	696		478		400		483		450		450	107.3
	活動指標 (2)		回	20		18		11		20		9		10	200.0
	成果指標 (1)		人	1,503		1,503		500		782		700		800	97.8
	成果指標 (2)		人	1,568		1,575		1,000		2,075		1,500		2,000	103.8
総事業費・コスト把握	事業費		千円	5,281		4,247		905		565		959		特記事項	
	(内)委託費		千円	2,018		3,456		0		0		0		他課 他団体の交流事業も指標に含む。	
	職員数 (正規 非常勤)		人	1.29		1.17		1.17		0.98		0.90			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	11,704		10,615		10,618		8,894		8,168		
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0		0		
	総事業費 + +		千円	16,985		14,862		11,523		9,459		9,127			
	単位あたりコスト ÷		円	24,404		31,093		28,807		19,583		20,281			
	財源	受益者負担分		千円	0		0		0		0		0		
		国 都等からの支出金		千円	0		0		0		0		0		
		特定財源計 +		千円	0		0		0		0		0		
差引：一般財源 -		千円	16,985		14,862		11,523		9,459		9,127				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		風連町 吾妻町で開催されるまつりへの阿波踊り訪問団の派遣事業については、13年度から杉並区文化・交流協会に移管した。吾妻町での親子田植え教室の中止など、全体的に区が主催する交流事業は縮小傾向にある。また、吾妻町の「すぎなみ自然村」は民間委託された。												
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)		風連町については、遠隔地のため実際に行くことが難しい。物産販売等、経済交流を進めてほしい。												
	今後の予測		各種イベント等での物産販売など経済交流の進展が考えられる。												

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		平和都市宣言関連事業の推進				整理番号	43		枝番号						
所属部課名 区民生活部文化 交流課		コード	051201		連絡先電話番号	2286		昨年度整理番号	51						
係名 男女共同参画推進担当		上位施策名						NO							
予算事業名	平和事業の推進		コード	11750		交流と平和の推進		68							
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		元	年度		根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業							
	事業終期		● 無 ○ 有		平成	年度		(1) 杉並区平和都市宣言							
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		区民				(2)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		平和のつどいや平和ポスター・コンクール、展示などの開催による平和都市宣言の趣旨の普及・啓発 非核宣言自治体協議会の加入・全国大会への参加による自治体間の連携 核実験国に対する抗議文の送付				活動指標名 (式)		(1) 平和のつどい参加者数						
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		区民一人ひとりが、戦争の悲惨さ、平和の尊さに対する認識を深めることにより、世界の恒久平和に寄与する。				成果指標名 (式)		(1) 平和のつどい参加者のうち初めて宣言を知った人 ÷ 全参加者数						
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		区民一人ひとりが、平和に対する意識を高めることにより、平和の推進が達成される。そのことから、区民アンケートや全国の自治体の事業をもとに、もっとも相応しいと思われる事業を実施し、平和の意識を高めている。						(2) 平和のつどい参加者のうち戦後生まれの人 ÷ 全参加者数							
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度		目標値	目標値に対する13年度の達成率%			
							計画	実績	計画		17年度				
指標	活動指標 (1)		人	405		437		500		175		500	35.0		
	活動指標 (2)		人	242		254		400		381		400	95.3		
	成果指標 (1)		%	44		41		45		44		50	87.0		
	成果指標 (2)		%	53		31		50		68		60	114.0		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	2,270		1,707		2,060		1,831		1,870		特記事項	
	(内)委託費		千円	0		0		0		0		0			
	職員数 (正規 非常勤)		人	0.43	0.00	0.43	0.00	0.60	0.00	0.60	0.00	0.60	0.00		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	3,901		3,901		5,445		5,445		5,445		
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0		0		
	総事業費 + +		千円	6,171		5,608		7,505		7,276		7,315			
	単位あたりコスト ÷		円	15,238		12,834		15,010		41,577		14,630			
	財源	受益者負担分		千円	0		0		0		0		0		
		国・都等からの支出金		千円	0		0		0		0		0		
		特定財源計 +		千円	0		0		0		0		0		
差引：一般財源 -		千円	6,171		5,608		7,505		7,276		7,315				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		宣言から15年が経過するが、新しい世紀を迎えたこと、米国同時多発テロが起きたこと、有事法制案の国会審議などから国民の平和に対する関心が高まっている。「平和のつどい」は、フルコンサートから映画上映に切り替えている。												
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)		アンケート調査では、平和事業は地道に未永く継続してほしいという意見が多い。好ましい事業として、映画会 講演会 展示会の順に上げられている。また、青少年の「平和のつどい」への参加比率が低いことから、平和への関心を憂慮する意見が多い。												
	今後の予測		世界的な規模で平和を考える機運ができ、一人ひとりの行動が求められてくる。戦争の体験を直接聞いたことのない戦後世代が増加することから、戦争の悲惨さや真の平和の尊さを伝えていく役割と責任も社会化する。区が、平和事業を進めていく重要性は増大していく。												

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		杉並区文化・交流協会				整理番号	44		枝番号				
所属部課名		区民生活部文化 交流協会		コード			連絡先電話番号	2283		昨年度整理番号	52		
係名				上位施策名				NO					
予算事業名				杉並区文化・交流協会				文化・芸術活動の推進				65	
事務事業の概要	事業開始年度			○ 昭和 ● 平成		12 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業終期			● 無 ○ 有		平成 年度		(1) 杉並区文化・交流協会補助金交付要綱					
	対象			<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		杉並区文化・交流協会		(2)					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			杉並区文化・交流協会に対し、文化・交流事業が円滑に行なえるように補助金を交付する。				活動指標名 (式)					
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)			区民が文化・芸術に触れる機会が増えるとともに、国内外の都市との交流が促進され、区民の文化・芸術活動並びに交流活動が活発におこなわれることを実現するため協会が推進役となって機能する。				成果指標名 (式)					
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 文化・芸術に親しめる環境や、多様な交流の機会が創出され、文化の薫るまちとして、また、平和都市として活力ある地域社会と心豊かな区民の生活づくりの一翼を担っている。													
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度		目標値	目標値に対する13年度の達成率%	
					計画		実績		計画		年度		
指標	活動指標 (1)				59.2		71.1		67.6		65.4		
	活動指標 (2)				1,321		1,600		1,325		1,600		
	成果指標 (1)						120.8%		100.3%		120.8%		
	成果指標 (2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円		48,696		59,702		56,615		53,732		特記事項
	(内)委託費		千円										
	職員数 (正規 非常勤)		人			7.62		8.62		7.98		8.16	
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	0	69,136		78,227		72,447		74,063	
		非常勤職員分		千円	0	0		0		0		0	
	総事業費 + +		千円	0	117,832		137,929		129,062		127,795		
	単位あたりコスト ÷		円		1,990,410		1,939,923		1,909,204		1,954,054		
	財源	受益者負担分		千円									
		国・都等からの支出金		千円									
		特定財源計 +		千円	0	0		0		0		0	
差引：一般財源 -		千円	0	117,832		137,929		129,062		127,795			
受益者負担比率 ÷		%		0.0		0.0		0.0		0.0			
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		杉並区文化振興協会と財団法人杉並区国際交流協会が統合し、平成12年度より杉並区文化・交流協会として事業展開、運営のための補助金を交付している。										
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)		身近なところで低廉な料金でかつ優れた文化・芸術に触れることができる機会、また、異文化を理解し人々との触れ合いも体験できる交流の機会をさらに拡充して欲しい。										
	今後の予測		NPO法人、民間団体の活動も活発化し、多種多様な文化・芸術活動、交流活動の展開や事業の提供が予測される。その中において、協会自体の事業展開のあり方、経営形態のあり方について検討が必要となっている。										

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		男女平等推進センター施設維持管理				整理番号	381		枝番号								
所属部課名		区民生活部文化 交流課		コード	051204		連絡先電話番号	3393-4410		昨年度整理番号	403						
係名				男女平等推進センター				上位施策名		NO							
予算事業名		男女平等推進センター運営		コード	40100		男女共同参画社会に向けた環境整備				69						
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 9年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業												
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 男女平等推進センター条例												
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 男女平等推進センターの建物、及びセンターを利用する個人・団体				(2) 行政財産使用料条例												
					(3) 男女平等推進センター登録団体使用取扱要綱												
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) センターの維持管理(建物の維持管理に係る部分については、併設の児童青少年センターに執行委任)、及び集会室、印刷機・複写機使用料の徴収				活動指標名(式)				(1) 延床505.59m ²								
									(2)								
意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 快適かつ安全な施設環境に保全する。				成果指標名(式)				(1) (代)年間修繕件数									
								(2)									
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか センター利用者の男女共同参画社会づくりの意識が高まる。																	
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%					
							計画	実績			年度						
指標	活動指標(1)		m ²	505.59	505.59	505.59	505.59	505.59	505.59								
	活動指標(2)																
	成果指標(1)		件	23	17	17	24	17									
	成果指標(2)																
総事業費・コスト把握	事業費		千円	9,431	6,886	7,323	6,695	6,901	特記事項								
	(内)委託費		千円	5,595	3,942	3,834	3,889	3,498	成果指標(1)は、建物の維持管理を執行委任している併設の児童青少年センターが算出した数値								
	職員数(正規 非常勤)		人	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15									
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	1,361	1,361	1,361	1,361	1,361									
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0									
	総事業費 + + +		千円	10,792	8,247	8,684	8,056	8,262									
	単位あたりコスト ÷		円	21,345	16,312	17,176	15,934	16,342									
	財源	受益者負担分		千円	117	83	119	76					119				
		国 都等からの支出金		千円													
		特定財源計 +		千円	117	83	119	76					119				
差引:一般財源 -		千円	10,675	8,164	8,565	7,980	8,143										
受益者負担比率 ÷		%	1.1	1.0	1.4	0.9	1.4										
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		男は仕事、女は家庭」という考え方について(区男女共同参画に関する意識と実態調査より) 平成10年 肯定派 = 39.7% 否定派 = 59.7% 平成13年 肯定派 = 30.2% 否定派 = 65.2%														
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)		最寄の駅から離れており不便である。 集会室の数が少ない。														
	今後の予測		維持管理経費については、経年劣化に伴い、通常の維持管理経費に加えて修繕費が増える。														

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		企画運営委員会				整理番号	382		枝番号				
所属部課名		区民生活部文化 交流課		コード	051204		連絡先電話番号	3393-4410		昨年度整理番号	404		
係名				男女平等推進センター				上位施策名		NO			
予算事業名		男女平等推進センター運営		コード	40100		男女共同参画社会に向けた環境整備		69				
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 9年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業								
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 男女平等推進センター条例								
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 男女平等推進センター企画運営委員会（学識経験者、各地域団推薦、一般公募 計12名）+センター事業				(2) 男女平等推進センター企画運営委員会設置要綱								
					(3) 男女共同参画をめざす杉並区行動計画								
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 委員会を男女平等推進センターで年6回開催し、センター事業の企画や運営について提言する。（任期は2年）				活動指標名（式） 委員会開催数								
					(1) 出席人数								
意図（対象をどのような状態にしたいのか） センター事業に対し、区民の意見を反映させる。				成果指標名（式）									
				(1) 区民企画事業審査数									
				(2)									
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 施策推進にあたって、チェック機能を果たし、区民参画で男女共同参画事業を行うことができる。													
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%	
							計画	実績			年度		
指標	活動指標(1)		回	6		6		6	6	6			
	活動指標(2)		人	59		59		72	61	72			
	成果指標(1)		件	5		3		5	4	5			
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円	435		421		494	420	494		特記事項	
	(内)委託費		千円	0		0		0	0	0			
	職員数(正規 非常勤)		人	0.30		0.30		0.30		0.30			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	2,722		2,722		2,723	2,723	2,723		
		非常勤職員分		千円	0		0		0	0	0		
	総事業費 + + +		千円	3,157		3,143		3,217	3,143	3,217			
	単位あたりコスト ÷		円	526,150		523,817		536,083	523,750	536,083			
	財源	受益者負担分		千円									
		国 都等からの支出金		千円									
		特定財源計 +		千円	0		0		0	0	0		
差引：一般財源 -		千円	3,157		3,143		3,217	3,143	3,217				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成9年5月に委員会が設置され、現在、三期目の委員会が任期2年目に入った。										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)		委員会の意見をセンター事業に反映させることが、住民の意見を採り入れたことにつながる。										
	今後の予測		同規模で開催する予定。										

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		パートタイマー報酬、図書・資料購入				整理番号	383		枝番号			
所属部課名		区民生活部文化 交流課		コード	051204	連絡先電話番号	3393-4410		昨年度整理番号	405		
係名				男女平等推進センター				上位施策名		NO		
予算事業名		男女平等推進センター運営		コード	40100		男女共同参画社会に向けた環境整備			69		
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 9年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業							
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 男女平等推進センター条例							
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 情報資料コーナーを利用する個人・団体				(2) 男女共同参画社会をめざす杉並区行動計画							
					(3)							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 男女共同参画社会づくりに関する情報を収集・発信するため関連図書資料等を購入し、その貸出し・返却業務のためにパートタイマー2名を雇入れる。				活動指標名(式) (1) 情報資料コーナー利用人数 (2) パートタイマー雇入れ人数							
意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 利用者の男女共同参画社会づくりに関する知識や意識を高める。				成果指標名(式) (1) (代) 図書貸出冊数 (2) (代) 利用者登録数								
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 男女共同参画社会づくりにおける区民の意識が高まる。												
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%
							計画	実績			年度	
指標	活動指標(1)		人	6,730	4,785	4,800	3,477	3,500				
	活動指標(2)		人	2	2	2	2	2				
	成果指標(1)		冊	776	746	750	732	740				
	成果指標(2)		人	102	52	55	48	50				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	4,031	2,544	2,536	2,052	2,726		特記事項		
	(内)委託費		千円	141	100	106	51	106				
	職員数(正規 非常勤)		人	0.40	0.40	0.40	0.40	0.30				
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	3,629	3,629	3,630	3,630	2,723			
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + + +		千円	7,660	6,173	6,166	5,682	5,449				
	単位あたりコスト ÷		円	1,138	1,290	1,285	1,634	1,557				
	財源	受益者負担分		千円								
		国 都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -		千円	7,660	6,173	6,166	5,682	5,449					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		蔵書数 平成12年度 2,635冊 平成13年度 2,755冊									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)		区立図書館でも、センター図書の貸出し返却ができるようにしてほしい。									
	今後の予測		地理的に便の良い所ではないので、利用者増はあまり期待できない。 施設規模上、蔵書は3,000冊が限界と思われる。									

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		ニュースの発行				整理番号	384		枝番号				
所属部課名		区民生活部文化 交流課		コード	051204	連絡先電話番号	3393-4410		昨年度整理番号	406			
係名				男女平等推進センター				上位施策名		NO			
予算事業名		男女平等推進センター運営		コード	40100		男女共同参画社会に向けた環境整備		69				
事務事業の概要	事業開始年度				○ 昭和 ○ 平成		9 年度		根拠法令等		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業		
	事業終期				● 無 ○ 有		平成 年度		(1) 男女平等推進センター条例				
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				(2) 男女平等推進センター広報編集委員会設置要領				
									(3) 男女共同参画社会をめざす杉並区行動計画				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				男女平等推進誌「ゆうCan」を年4回発行する。公募区民による編集委員会により原稿を作成し、印刷は外注(年4回の内1回は浄書印刷)。		活動指標名(式)		(1) 発行部数				
									(2) 編集委員会の開催数				
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				男女共同参画社会づくりに関する情報を区民に提供することにより、意識を啓発する。		成果指標名(式)		(1) (代)発行部数					
								(2)					
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか													
男女共同参画社会づくりに関する知識の啓発として貢献している。													
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画	目標値	目標値に対する13年度の達成率%		
							計画		実績	年度			
指標	活動指標(1)		部	13500		18000		18000		18000			
	活動指標(2)		回	33		32		32		35	32		
	成果指標(1)		部	13500		18000		18000		18000			
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,048		960		1,078		936	1,078	特記事項	
	(内)委託費		千円	0		0		0		0	0		
	職員数(正規 非常勤)		人	0.50		0.50		0.50		0.50			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	4,537		4,537		4,538		4,538		4,538
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0		0
	総事業費 + + +		千円	5,585		5,497		5,616		5,474	5,616		
	単位あたりコスト ÷		円	414		305		312		304	312		
	財源	受益者負担分		千円									
		国 都等からの支出金		千円									
		特定財源計 +		千円	0		0		0		0		0
差引:一般財源 -		千円	5,585		5,497		5,616		5,474	5,616			
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0	0.0			
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		男は仕事、女は家庭」という考え方について(区男女共同参画に関する意識と実態調査より) 平成10年 肯定派 = 39.7% 否定派 = 59.7% 平成13年 肯定派 = 30.2% 否定派 = 65.2%										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)		反応があまりないので、住民の意見を吸い上げるための工夫が必要。										
	今後の予測		発行部数としては現状を維持する。										

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		啓発・セミナー講座の開催				整理番号	385		枝番号		
所属部課名		区民生活部文化 交流課		コード	051204	連絡先電話番号	3393-4410		昨年度整理番号	407	
係名				男女平等推進センター				上位施策名		NO	
予算事業名		男女平等推進センター運営		コード	40100		男女共同参画社会に向けた環境整備		69		
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		9 年度		根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
	事業終期		○ 無 ○ 有		平成 年度		(1) 男女平等推進センター条例				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 男女共同参画社会をめざす杉並区行動計画						
	男女共同参画社会やジェンダーフリーに興味のある人		(3)								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				活動指標名 (式)						
企画立案 講師交渉 起案 広報紙・チラシ等でのPR 会場設営 実施 後片付け 記録作成 企画運営委員会への報告				(1) 講座参加人数							
				(2) 講座開催数							
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				成果指標名 (式)							
男女共同参画やジェンダーフリーについて考えるきっかけとするとともに、女性問題の解決に役立つ基礎的な知識のほか、コミュニケーション能力・問題解決能力の養成をめざした学習を行う。				(1) 講座参加満足度 = 評価 (5点満点) / 回答人数							
				(2)							
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか											
男女平等の意識づくりを広め、男女共同参画社会の実現をめざす。											
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値	目標値に対する13年度の達成率%		
					計画	実績		年度			
指標	活動指標 (1)		人	447	405	420	217	220			
	活動指標 (2)		回	24	23	24	16	24			
	成果指標 (1)		点	4	4	5	4	5			
	成果指標 (2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,538	1,557	1,564	1,042	1,558	特記事項		
	(内)委託費		千円	0	0	0	0	0			
	職員数 (正規 非常勤)		人	2.81	2.81	2.81	1.63	1.63			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	25,495	25,495	25,501	14,792	14,792			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + + +		千円	27,033	27,052	27,065	15,834	16,350			
	単位あたりコスト ÷		円	60,477	66,795	64,440	72,969	74,319			
	財源	受益者負担分		千円							
		国 都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0		
差引：一般財源 -		千円	27,033	27,052	27,065	15,834	16,350				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		参加人数は減少傾向にあるが、全体的に若い世代の参加が多くなってきた。								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)		一方的な講義でなく、参加者の意見発表や交流の場を含めた講座を企画してほしい。実技的な講座を増やしてほしい。								
	今後の予測		女性の生き方・価値観の多様化により、講座に対する要望も今後ますます多様化するものと思われる。								

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		人材養成・ネットワークづくり				整理番号	386		枝番号				
所属部課名 区民生活部文化 交流課		コード	051204		連絡先電話番号	3393-4410		昨年度整理番号	409				
係名 男女平等推進センター		上位施策名						NO					
予算事業名 男女平等推進センター運営		コード	40100		男女共同参画社会に向けた環境整備				69				
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		9年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業								
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 男女平等推進センター条例								
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(2) 男女共同参画社会をめざす杉並区行動計画										
	男女平等の社会的風土づくりのために活動している団体グループ、及び区の審議会		(3)										
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) <small>男女平等の風土づくりのために、啓発・学習・セミナーの修了者に対して、グループ作りに向けた支援。 団体・グループの人材・リーダー養成のために、区民自らの企画を含めた講習会等の開催。 団体・グループ間の交流促進のために、団体紹介冊子の作成、及びネットワーク化のための支援。 区の各種審議会等への女性委員登用に向けた人材リストの発行。</small>		活動指標名(式)		(1) センター利用団体・グループ数(センター登録団体+女性団体+区民企画事業実施団体)								
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 地域活動における男女共同参画社会の促進のためのリーダーとなってもらう。		成果指標名(式)		(1) (代)区民参加で実施した事業数								
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 男女共同参画社会づくりの観点から、地域活動における区民のエンパワーメント(=連携して力をつけること)が高まる。													
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画	目標値	目標値に対する13年度の達成率%		
指標	活動指標(1)		団体	139		136		160		119	120		
	活動指標(2)												
	成果指標(1)		回	12		8		12		8	12		
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円	2,002		1,363		1,337		1,007	1,337	特記事項	
	(内)委託費		千円	0		0		0		0	0		
	職員数(正規 非常勤)		人	1.30		1.30		1.30		1.30			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	11,795		11,795		11,798		11,798	11,798	
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0	0	
	総事業費 + + +		千円	13,797		13,158		13,135		12,805	13,135		
	単位あたりコスト ÷		円	99,258		96,749		82,091		107,601	109,454		
	財源	受益者負担分		千円									
		国・都等からの支出金		千円									
		特定財源計 +		千円	0		0		0		0	0	
差引:一般財源 -		千円	13,797		13,158		13,135		12,805	13,135			
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0	0.0			
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		新たに活動をはじめめるグループも増えてきたが、既存団体の減少が多く、全体的には減少傾向にある。センター講座受講者のグループ化支援により設立されて自主グループが区民企画事業に応募する等、力をつけてきている。										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)		(仮称)男女平等推進に関する条例の制定 助成対象を講座だけでなく、調査研究にも広げてほしい。										
	今後の予測		センターの講座受講者等を中心に自主グループが設立されているが、全体的には団体の減少は続くと思われる。										

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		女性のための相談				整理番号	387		枝番号			
所属部課名 区民生活部文化 交流課			コード	051204		連絡先電話番号	3393-4410		昨年度整理番号	413		
係名 男女平等推進センター				上位施策名				NO				
予算事業名 男女平等推進センター運営			コード	40100		男女共同参画社会に向けた環境整備				69		
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成			9 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有			平成 年度		(1) 男女平等推進センター条例						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他			区民一般		(2) 男女共同参画社会をめざす杉並区行動計画						
						(3)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)					活動指標名 (式)						
	センターにおいて無料で一般相談(10:00~16:00)、法律相談(毎木曜の13:15~17:15、月1回は夜間、いずれも予約制)、心の相談(毎金曜の13:15~17:15、予約制)を実施する。					(1) 年間開催日数(延べ)						
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)					成果指標名 (式)							
悩み事が解決され、安心して生活をおくれるようにする。					(1) 相談件数 = 一般相談 + 法律相談 + 心の相談							
					(2)							
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか												
男女共同参画社会づくりの視点から、社会的に弱い立場にある女性の自立に貢献する。												
区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%			
				計画	実績		年度					
指標	活動指標(1)	日	292	286	333	333	342					
	活動指標(2)											
	成果指標(1)	件	1077	789	875	942	950					
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	6,677	4,758	5,753	5,545	5,799	特記事項			
	(内)委託費		千円									
	職員数(正規 非常勤)		人	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	1,361	1,361	1,361	1,361	1,361				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 + + +		千円	8,038	6,119	7,114	6,906	7,160				
	単位あたりコスト ÷		円	27,527	21,395	21,364	20,739	20,936				
	財源	受益者負担分		千円								
		国 都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -		千円	8,038	6,119	7,114	6,906	7,160					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成13年5月から「心の相談」を開始した。									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)		相談時間の制限が緩やかで、落ち着いて相談できる。									
	今後の予測		社会状況の変化に伴い、より複雑で深刻な相談内容になってくると予想される。									

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		女性のための起業支援				整理番号	388		枝番号		
所属部課名		区民生活部文化 交流課		コード	051204	連絡先電話番号	3393-4410		昨年度整理番号	414	
係名					男女平等推進センター			上位施策名		NO	
予算事業名					男女平等推進センター運営			コード		40100	
					男女が対等に働ける職場環境づくり					49	
事務事業の概要	事業開始年度				○ 昭和 ○ 平成		9 年度		根拠法令等		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業
	事業終期				● 無 ○ 有		平成 年度		(1) 男女平等推進センター条例		
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		経済的に自立をめざす女性		(2) 男女共同参画社会をめざす杉並区行動計画		
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				・女性が経済的自立(就職・再就職)をするにあたっての情報提供(講演2回)とパソコン(エクセル)実技(初級、中級の2コース)の講習。 ・就業の一形態としての女性の起業を支援するため、起業セミナー(講演5回)、事業計画書作りセミナー(講演5回)、経営診断セミナー(診断1回)を実施する。		活動指標名(式)		(1) 講習会受講者数		
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				女性の経済的自立を支援する学習と情報を提供することにより、自立への意識と方法を学ぶ。		成果指標名(式)		(1) 就職 起業率 (就職 起業人数 / 追跡調査有効回答数)		
					意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		女性の就業意識、自立意識の向上につながっている。		(2)		
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値	目標値に対する13年度の達成率%		
					計画	実績		年度			
指標	活動指標(1)		人	17	20	110	73	130			
	活動指標(2)										
	成果指標(1)		%	20	7	20	33	30			
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	215	541	1,633	1,583	1,631	特記事項		
	(内)委託費		千円		500	563	563	563			
	職員数(正規 非常勤)		人	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	4,537	4,537	4,538	4,538	4,538		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + + +		千円	4,752	5,078	6,171	6,121	6,169			
	単位あたりコスト ÷		円	279,500	253,875	56,095	83,842	47,450			
	財源	受益者負担分		千円		140	590	400	590		
		国 都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	140	590	400	590		
差引:一般財源 -		千円	4,752	4,938	5,581	5,721	5,579				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	2.8	9.6	6.5	9.6				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		女子学生対象の就職講座と再就職希望者向けの講座を平成11年度から一本化し「就職・再就職セミナー」として、受講希望が多く、その技能習得が就職に有利とされているパソコン講座をメインに実施。また、平成13年度から女性の起業を支援する「起業セミナー」「事業計画書作りセミナー」「経営診断セミナー」を実施。								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)		就職・再就職に向けて区がパソコン講習を廉価で実施してくれるのは、大変ありがたい。区が女性の起業を支援する講座を開くことは大変素晴らしいことだ。今後も続けてほしい。								
	今後の予測		低迷する日本経済において、女性の経済的自立(自己実現も含む)希望は今後も続くものと思われる。								

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		調査・研究（女性史の発行）				整理番号	389		枝番号		
所属部課名		区民生活部文化 交流課		コード	051204	連絡先電話番号	3393-4410		昨年度整理番号		
係名		男女平等推進センター			上位施策名				NO		
予算事業名		男女平等推進センター運営		コード	40100	男女共同参画社会に向けた環境整備					
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		13 年度		根拠法令等			<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業終期		○ 無 ○ 有		平成 年度		(1) 男女平等推進センター条例				
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2)						
	対象		杉並区女性史編さんの会								
	対象		(3)								
活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		同会に対し、活動助成を行い、編さん会議の場としてセンター集会室を提供する。また、必要な資料等について入手しやすいよう援助する。									
活動内容		活動指標名（式）									
活動内容		(1) 編さん委員会開催数									
活動内容		(2)									
意図（対象をどのような状態にしたいのか）		成果指標名（式）									
意図		(1) 女性史買取部数									
意図		(2)									
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		戦後、杉並に暮らした女性たちの暮らしや活動を広く知らせることにより、男女共同参画社会実現のための大きな礎となる。									
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値	目標値に対する13年度の達成率%		
					計画	実績		年度			
指標	活動指標(1)		回			20	22	5			
	活動指標(2)										
	成果指標(1)		部			-	-	3,000			
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円			1,400	1,400	6,308	特記事項 平成13年度に開始した事業である。		
	(内)委託費		千円								
	職員数(正規 非常勤)		人			0.50	0.50	0.50			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	0	0	4,538	4,538		4,538	
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0		0	
	総事業費 + + +		千円	0	0	5,938	5,938	10,846			
	単位あたりコスト ÷		円			296,875	269,886	2,169,100			
	財源	受益者負担分		千円						750	
		国 都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0		750	
差引：一般財源 -		千円	0	0	5,938	5,938	10,096				
受益者負担比率 ÷		%			0.0	0.0	6.9				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		<他区女性史発行状況> 発行済み :10区 未発行 :12区 (目黒区は平成14年10月、渋谷区は平成15年度中に発行予定)								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)		平成12年 7月13日、「地域女性史を作る会」から女性史を編集・発行したいとの要望書が区長あてに提出された。								
	今後の予測		平成14年秋に杉並女性史編さんの会が女性史を発行し、区が3,000部を買い取り各課や関係機関に送付するとともに、本庁や男女平等推進センターにおいて区民等に有償頒布する。また、事業の中でも活用していく。								

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		男女共同参画推進のための啓発				整理番号	392		枝番号		
所属部課名 区民生活部文化・交流課		コード	051201		連絡先電話番号	2286		昨年度整理番号	417		
係名 男女共同参画推進担当		上位施策名						NO			
予算事業名 女性行政進行		コード	40210		男女共同参画社会に向けた環境整備				69		
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		3年度		根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成年度		(1) 男女共同参画社会基本法						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区男女共同参画推進区民懇談会設置要綱								
	区民 職員		(3) 杉並区男女共同参画推進会議設置要綱								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 資料集や啓発誌を作成し、区民や団体に配布。新成人向け啓発紙「20歳のライフデザイン」を作成し、成人祝賀のついでに配布。 職員向け男女共同参画推進紙「風媒花」の作成配布や庁内放送(朝メモ)により、職員に対し啓発や情報提供を行う。		活動指標名(式)				(1) 啓発誌作成部数 + 推進誌作成部数				
意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 男女平等・男女共同参画についての理解を深める。		成果指標名(式)				(1) 啓発誌配布数 ÷ 啓発誌作成部数					
						(2)					
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 男女平等・共同参画への理解を深めることにより、女性も男性も社会のあらゆる分野に対等なパートナーとして参画できる社会が実現する。また、区における職場の男女平等を推進する。											
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画	目標値	目標値に対する13年度の達成率%
							計画	実績		15年度	
指標	活動指標(1)		部	5,100	3,100	4,800	3,300	5,300	3,300	100.0	
	活動指標(2)										
	成果指標(1)		%	84	88	90	95	94	97	97.4	
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	753	398	314	311	653	特記事項		
	(内)委託費		千円								
	職員数(正規 非常勤)		人	0.70	0.50	0.30	0.30	0.30			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	6,351	4,537	2,723	2,723	2,723		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +		千円	7,104	4,935	3,037	3,034	3,376			
	単位あたりコスト ÷		円	1,393	1,592	633	919	637			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0		
差引:一般財源 -		千円	7,104	4,935	3,037	3,034	3,376				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		男女共同参画社会基本法や男女共同参画基本計画が制定されるなど、男女共同参画社会の実現は21世紀におけるわが国の最重要課題のひとつと位置づけられている。また、少子・高齢化が進むなか、仕事と育児・介護の両立ができるよう育児・介護休業法の改正も行われた。DV防止法も施行され、女性に対する暴力の問題もクローズアップされている。								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		男女共同参画宣言都市にふさわしい行政のあり方が求められている。								
	今後の予測		少子・高齢化が進むことにより、育児や介護を含めた家庭と仕事の両立、また、セクシュアル・ハラスメントや家庭内暴力など女性の人権について、今後ますます情報提供や意識啓発が必要になってくる。法的整備もすすむなかそれにあわせた行政のあり方が求められる。								

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		男女共同参画に関する調査研究				整理番号	393		枝番号		
所属部課名文化・交流課		コード	051201		連絡先電話番号	2286		昨年度整理番号	419		
係名 男女共同参画推進担当係					上位施策名			NO			
予算事業名		女性行政振興		コード	40210		男女共同参画社会に向けた環境整備				
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 58 年度				根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 男女共同参画社会基本法						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				(2) 杉並区男女共同参画推進区民懇談会設置要綱						
	男女共同参画社会をめざす杉並区行動計画推進状況調査：各主管課 男女共同参画に関する意識と生活実態調査：一般区民				(3) 杉並区男女共同参画推進会議設置要綱						
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 男女共同参画社会をめざす杉並区行動計画推進状況調査（前年度の事業の推進状況を各課ごとに調査する） 無作為抽出した一般区民の男女共同参画に関する意識と生活実態を調査する。（約3年に1回程度実施）				活動指標名（式） (1) 男女共同参画社会をめざす杉並区行動計画推進調査対象事業数 (2) 男女共同参画社会に関する意識と生活実態調査の調査票回収率						
意図（対象をどのような状態にしたいのか） 行動計画推進状況調査：年度ごとの推進状況調査により、各施策の事業実績及び評価を区民に明示できる。 男女共同参画に関する意識と生活実態調査：区民の意識や実態を把握し、男女共同参画関係施策に反映させる。				成果指標名（式） (1) 有効とされた事業 / 対象事業数 (2)							
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 行動計画の各事業実績を評価、把握することにより、男女共同参画について、より高い目標を目指す指標となる。また、意識と生活実態調査の結果は区行動計画改訂時や新たな施策を行うときの参考になる。											
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画	目標値	目標値に対する13年度の達成率%
							計画	実績		15年度	
指標	活動指標(1)		事業	465	465	465	447	450	400	111.8	
	活動指標(2)		%			60	35		70	50.4	
	成果指標(1)		%	70		75	85		80	106.3	
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	433	553	3,665	2,797	708	特記事項		
	(内)委託費		千円								
	職員数(正規 非常勤)		人	0.50	0.30	1.00	1.00	1.00			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	4,537	2,722	9,075	9,075	9,075		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +		千円	4,970	3,275	12,740	11,872	9,783			
	単位あたりコスト ÷		円	10,687	7,043	27,398	26,559	21,740			
	財源	受益者負担分		千円							
		国 都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0		
差引：一般財源 -		千円	4,970	3,275	12,740	11,872	9,783				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		男女共同参画社会基本法、配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律が制定され、都でも、男女共同参画基本条例が制定されるなど、法律の整備が進んだ。経済社会環境の変化の中で、少子高齢化が進み、男女共同参画社会の実現が国の最重要課題の一つとされ、最近では、男女別の育児休業取得率の目標値などを盛り込んだ新たな少子化対策案を厚生労働省が作成するなど、社会全体で子育て								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)		男女共同参画社会をめざす行動計画推進状況に対する第三者評価の必要が指摘されている。								
	今後の予測		就業する女性の増加、経済の不況による就労形態の変化など社会環境の変化のスピードは、ますます加速することが予想される。これらの変化を敏感に把握し、施策に反映できるような調査研究が必要であり、今後は調査結果の第三者評価の方策の検討が肝要である。								

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		男女共同参画の推進				整理番号	394		枝番号		
所属部課名文化・交流課		コード	051201		連絡先電話番号	2286		昨年度整理番号	420		
係名 男女共同参画推進担当係					上位施策名				NO		
予算事業名		女性行政振興		コード	40210		男女共同参画社会に向けた環境整備				
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 10 年度				根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 男女共同参画社会基本法						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 男女共同参画推進区民懇談会：公募区民、団体代表、関係機関、 男女共同参画都市宣言記念事業：区民、地域団体				(2) 杉並区男女共同参画推進区民懇談会設置要綱 (3) 杉並区男女共同参画推進会議設置要綱						
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 男女共同参画推進区民懇談会：区における男女共同参画関係施策の総合的・計画的推進を図るため、委員及び幹事で懇談、意見集約を図る。 男女共同参画都市宣言記念事業：例年12月の宣言時期にあわせ、パネル展示等を行うほか、通年で各種の事業を行う。				活動指標名（式） (1) 男女共同参画推進区民懇談会等の開催回数 (2) 都市宣言記念事業参加者数						
	意図（対象をどのような状態にしたいのか） 男女共同参画の推進を図るため、男女平等・共同参画に関する施策について区民の意見を集約し、男女共同参画行政に反映させる。 都市宣言を記念した事業を行い、男女共同参画都市宣言の周				成果指標名（式） (1) 審議会等への女性の登用率 (2) 宣言記念事業やその他の啓発により 男女共同参画宣言都市であると認識を持っている人の割合						
	意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 区民と区が良好なパートナーシップのもとに男女共同参画社会の実現に貢献する。										
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画	目標値	目標値に対する13年度の達成率%
							計画	実績		15年度	
指標	活動指標(1)		回	5	5	3	6	8	8	75.0	
	活動指標(2)		人	280	280	300	320	2,000	500	64.0	
	成果指標(1)		%	37	37	30	30	30	30	100.0	
	成果指標(2)		%			10	13		30	42.0	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,152	419	1,050	1,030	1,289	特記事項		
	(内)委託費		千円								
	職員数(正規 非常勤)		人	0.80	0.80	0.60	0.60	0.60			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	7,258	7,258	5,445	5,445	5,445			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	8,410	7,677	6,495	6,475	6,734			
	単位あたりコスト ÷		円	1,682,080	1,535,480	2,165,000	1,079,167	841,750			
	財源	受益者負担分		千円							
		国 都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0		
差引：一般財源 -		千円	8,410	7,677	6,495	6,475	6,734				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		区は平成9年12月1日に男女共同参画都市宣言を行った。できるだけ多くの刊物に宣言文を掲載するなど、普及啓発に努力している。13年7月には、全国男女共同参画宣言都市サミット(山口県宇部市)に参加している。宣言都市も平成6年度3都市であったものが、13年度には45都市に増加している。								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)		14年度に予定している全国男女共同参画宣言都市サミットの開催にあわせ、一般区民の男女共同参画についての周知の広がりが期待されている。								
	今後の予測		男女共同参画社会の実現に向け、社会環境の整備が着々と進行している。今後は法律、計画の実効性の担保が望まれるが、経済の不況による労働市場の動向によっては、実効性が薄くなる懸念される。								